

開催日時	平成 24 年 6 月 29 日（金） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 25 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階会議室
議題	(1) 委員長並びに副委員長の選出について (2) 前委員会開催時の課題について (3) 平成 2 3 年度の実績及び平成 2 4 年度の取り組み状況について
出席委員	委員長 山川 隆司（大垣市医師会長） 副委員長 杉山 勝治（大垣歯科医師会長） 委員 鈴木 一朗（弁護士） 委員 岩田 雅人（安八郡医師会長） 委員 和田 育徳（大垣市医師会） 委員 近藤 潤一郎（大垣市医師会） 委員 片野 雅文（大垣歯科医師会） 委員 松本 正平（大垣薬剤師会長） 委員 伊藤 恒子（日本中央看護専門学校長）
会議の公開区分	公開
傍聴人	なし
審議概要	<p>(1) 委員長並び副委員長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 委員長に、大垣市医師会長の山川隆司医師が推薦され、委員の承認により決定した。・ 副委員長の選出について、委員長が大垣歯科医師会長の杉山勝治を指名、委員の承認により決定した。 <p>(2) 前委員会開催時の課題について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 開放型病床の休日・時間外での入院受入対応について、今年度より、開放型病床を希望されたときは受入とする。しかし、当日の開放型病床への入床は困難なため、まずは一般病棟への入院とした後、各種利用手続きを行い開放型病床へ転床する。 <p>(3) 平成 2 3 年度の実績及び平成 2 4 年度の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・ よろず相談・地域連携課より、紹介率・逆紹介率、共同利用の実施として紹介医からの診察・検査数、救急医療の提供として救急利用件数、職員・医療関係者の研修会と市民対象の講演会の開催状況、開放型病床の利用状況の報告があった。 <p>紹介率：45.6%（H24 年 4・5 月）、45.0%（H23 年度）</p> <p>逆紹介率：65.4%（H24 年 4・5 月）、65.2%（H23 年度）</p> <p>紹介診察件数：1,091 件（H24 年 4・5 月）、6,295 件（H23 年度）</p> <p>紹介検査件数：1,299 件（H24 年 4・5 月）、7,459 件（H23 年度）</p> <p>救急受診患者数：45,284 人（月平均 3,774 人）（H24 年 4・5 月）、7,657 人（月平均 3,829 人）（H23 年度）</p> <p>救急車利用件数：9,768 件（月平均 814 件）（H24 年 4・5 月）、1,390 件（月平均 695 件）（H23 年度）</p> <p>救急入院患者数：375 件（月平均 188 件）（H24 年 4・5 月）、2,365 件（月平均 196 件）（H23 年度）</p> <p>職員・医療関係者研修会：（内容）病診連携カンファレンス、コメディカルオープン勉強会 等</p> <p>（H23 年度）開催数：46 回、参加人数：3,772 人、（H24 年度）開催数：22 回（予定）</p> <p>市民を対象とした講演会：（内容）市民公開講座 等</p> <p>（H23 年度）開催数：21 回、参加人数：1,108 人、（H24 年度）開催数：21 回（予定）</p> <p>開放型病床の状況：登録医数：医師数 65 人、歯科医師数 7 人（H24 年 5 月末現在）</p> <p>病床利用率平均：15.3%（H23 年度）、17.4%（H24 年 4・5）</p> ・ 各委員より、開放型病床についての意見があった。内容は次のとおり。 <p>①委員より、開放型病床の利用者を増やす方策について、案がないかとの意見があった。</p>

	<p>→（委員）増えない理由に、入院になるか分からない患者の場合、開放型病床に紹介しにくいことがある。</p> <p>→（当院医師）入院決定は、紹介元にある。紹介状に入院とあれば、入院となる。</p> <p>②委員長より、小児科の開放型病床の利用がない点について、小児科の登録医が1件のため、登録をして利用をお願いしてみてもどうか。</p> <p>→（よろず相談・地域連携課担当）小児科を標榜の医師に文書を作成しPRする。小児科の開放型病床ができたという文言を入れる。</p> <p>③副委員長より、歯科も歯科部長と相談して、伝えることができると思う。</p> <p>④委員より、開放型病床の救急での受入について、紹介状を持って受診し、同意書等の必要書類が揃った受診翌日以降に開放型病床へ入院となるまで時間が空くが、その間の対応はどうなるのか。</p> <p>→（よろず相談・地域連携課担当）持参の紹介状に必ず「開放型病床希望」と「診療科」を指定すれば、まず一般入院となる。開放型病床の必要書類が揃えば翌日にも開放型病床へ転床できる。</p> <p>→（委員長）入院が翌日になることはなく、手続きが翌日でよいということ。開放型病床希望で救急に紹介したが帰宅となったということがないようにすること。</p> <p>⑤委員より、開放型病床のメリット・デメリットは何か。</p> <p>→共同診療の費用が発生する。登録医分の診療報酬請求は、共同診療後に持ち帰る共同指導票により請求し、後日、患者様から自己負担分をもらう。</p> <p>⑥委員より、開放型病床に個室がないが。</p> <p>→（院長）今後、検討する。</p> <p>⑦委員より、救命救急センターの救急病床に来診する場合、パスワードが必要で入りにくい。インターホンを押して名乗ればいいと思うが、快く入れるようにしてほしいとの意見があった。</p>
次回開催	平成24年度第2回は9月の開催とする